

# 薬局新聞

2020年  
春号

## くすいの話 vol.1 (抗菌薬)

### 細菌とは

- ・単細胞生物。栄養源があれば同じ細菌を複製して増える。
- ・人体に侵入して病気を起こす**有害な細菌**(大腸菌、結核菌、黄色ブドウ球菌など)と、人の生活に**有用な細菌**(納豆菌、乳酸菌など)が存在する。
- ・人体には多くの種類の細菌が存在し皮膚表面や腸内環境を保っている。

### 抗菌薬とは

- ・**抗菌薬(抗生剤・抗生物質)**は細菌を退治するための薬です。
- ・細菌を破壊したり、細菌が増えるのを抑える。
- ・細菌以外の病原体(ウイルスや真菌など)が原因の感染症には効果が期待出来ない。
- ・微生物が作った化学物質を**抗生物質・抗生剤**。化学的に合成される物質を**抗菌薬**。
- ・**複数菌種に対する抗菌活性を持つことが多い。**
- ・腸内細菌も破壊するので、副作用として下痢症状あり。
- ・正しく服薬することが大切。不適切な服薬は「**薬剤耐性菌**」を生み出す要因になる。

### ウイルスとは

- ・**細菌の50分の1程度の大きさ**。(インフルエンザウイルス:0.1 $\mu$ m)とても小さく、細胞がないため他の細胞に入り込む。
- ・ヒトの体にウイルスが侵入すると、ヒトの細胞の中に入って自分のコピーを作らせ増殖。
- ・ヒトに**病気を起こすウイルス**として、インフルエンザウイルスやノロウイルスがある。
- ・ウイルスは大きさや仕組みが細菌と異なるので**抗菌薬(抗生剤・抗生物質)は効果なし**。

### 抗ウイルス薬とは

- ・**抗ウイルス薬**はまだ少数しか開発されていない。
- ・ウイルスの分子科学的な多様性が著しく高いため、**それぞれに対する治療薬**が必要。
- ・ヘルペスウイルス治療薬、インフルエンザ治療薬 等々。

### 話題の薬

#### アビガン錠(抗インフルエンザウイルス薬)

一般名:ファビピラビル

適応:新型又は再興型インフルエンザ感染症  
(他剤無効又は効果不十分のみ。  
国の判断で投与可)

禁忌:妊婦

(動物実験において、  
初期胚の致死及び催奇形性)

副作用:異常行動

半減期:4.8時間

特徴:パンデミックインフルエンザに対する薬剤。  
国家備蓄品。

### くすいの正しい飲み方!

#### ★ unnecessary 抗菌薬は飲まない!

ウイルス性の風邪に、抗菌薬は効果なし。“風邪ぎみだから自宅に残っていた抗菌薬を念のために服用…”は、もってのほか。**unnecessary 薬は飲まない!**

#### ★ 処方されたら飲み切る!

途中で飲むのをやめると細菌を退治できず、残った細菌から**薬剤耐性菌**が生まれる可能性あり。**薬が効かなくなります。**しっかり飲み切り細菌を退治しよう!

お気軽に  
ご相談下さい



東加古川病院 薬局  
加古川市平岡町新在家 1197-3

